

第3次守口市生涯学習推進計画

令和4年（2022年）3月

守口市

<目次>

第1章 計画の策定にあたって.....	1
1. 計画策定の趣旨.....	2
(1) 計画策定の経緯.....	2
(2) 生涯学習とは.....	2
(3) 生涯学習とSDGs.....	3
2. 計画の概要.....	4
(1) 計画の位置づけ.....	4
(2) 計画の期間.....	4
3. 計画の策定経過.....	5
第2章 現状と課題.....	6
1. 守口市の生涯学習に関する現状.....	7
(1) 統計・アンケート調査結果.....	7
(2) 第2次守口市生涯学習推進計画の取り組み状況.....	13
2. 守口市の生涯学習に関する課題のまとめ.....	16
(1) 学習環境の整備と体制づくり.....	16
(2) ライフステージに応じた生涯学習活動の充実.....	16
(3) 誰もが参加できる学びの提供.....	16
第3章 今後の取り組みに向けて.....	17
1. 第6次守口市総合基本計画における位置づけ.....	18
2. 基本理念.....	21
第4章 生涯学習推進施策.....	23
1. 学習情報提供.....	23
2. 学習施設の整備と活用.....	23
3. 学習支援の体制整備.....	24
4. 人材の発掘と育成.....	25
5. テーマ別の生涯学習.....	25
6. 学校・家庭・地域活動への支援.....	26
第5章 計画の推進にあたって.....	28
1. 総合的な体制づくり.....	29
2. 連携・協働による生涯学習推進.....	29
3. PDCA サイクルによる進行管理.....	29
資料編.....	30

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨
2. 計画の概要
3. 計画の策定経過

1. 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の経緯

本市では、総合的に市民の自主的な生涯学習活動を支援するための行政指針として「第1次守口市生涯学習推進計画」を平成7年3月に策定し、その後継計画として平成25年2月に「第2次守口市生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習の諸施策の実施を進めてきました。

「第2次守口市生涯学習推進計画」を策定してから、これまでの間に地域における市民の相互交流を促進することなどを目的として、平成28年度には市内公民館をコミュニティセンターに転換し、平成30年度には大枝公園がリニューアルオープン、令和2年度には、守口市生涯学習情報センターを改修し、「集い・学び・交流する」施設として、市内で初めてとなる守口市立図書館が開館するなど、本市の生涯学習活動の充実を支援する環境が整えられました。

現在は、守口市立図書館が本市の新たな生涯学習活動、また、コミュニティ活動拠点となっています。時代や環境の変化とともに、生涯学習に求められる内容も多様化しており、学びを通じて個人の学習の成果を地域社会全体の力として結びつけていくために、今後の生涯学習を推進するための新しい指針が必要となっています。

令和3年3月策定の「第6次守口市総合基本計画」では、将来都市像として「いつまでも住み続けたいまち守口～暮らしやすさがちょうどええ～」を掲げるとともに、国際社会の共通目標であるSDGsの理念を取り入れています。

これらを踏まえ、「第6次守口市総合基本計画」との整合性を図り、これからの市民の自立した生涯学習活動の充実を支援する方向性を示すために、「第3次守口市生涯学習推進計画」を策定しました。

(2) 生涯学習とは

生涯学習とは、市民一人ひとりが生きがいのある充実した人生を送るため、自ら学ぶ意思に基づくことを基本とし、必要に応じ、自分に適応した手段や方法を選び、生涯にわたって行う学習活動のことです。

具体的には、日常生活を高めたり、スキルアップやキャリアアップなどにより職業上の能力を向上させたり、自分自身の人生を豊かなものにすることを目的に、趣味・教養、資格取得、スポーツ活動、レクリエーション活動、文化・芸術活動、地域づくり活動、国際交流活動、ボランティア活動などの活動をいいます。

また、生涯学習は学校教育や学校外教育（家庭教育・社会教育）以外にも、個人の自由な学習などを含む人間生活に関わるあらゆる領域での学びを表します。

(3) 生涯学習とSDGs

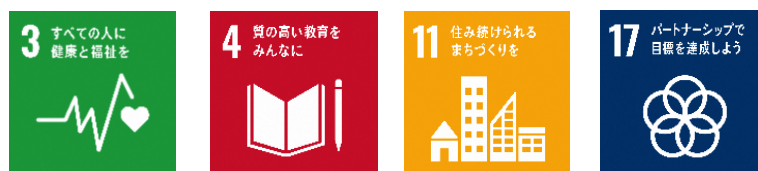
国際社会においては、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するために、令和12年を年限として「持続可能な開発目標-SDGs

(Sustainable Development Goals)」の達成に向けて取り組みを進めています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本においても積極的に取り組んでいます。

SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成されており、自治体がそれぞれの特性に応じて目標を設定し、取り組みを進めていくことが期待されています。SDGsという国際的な枠組みを活用しながら、地方自治体においても社会・経済・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことや、多様な主体が連携・協力して取り組むことが必要です。



本市でも、第6次守口市総合基本計画の基本構想においてSDGsの達成に向けての取り組みについて目標を設定しており、生涯学習の分野においては、SDGsの「3 すべての人に健康と福祉を」、「4 質の高い教育をみんなに」、「11 住み続けられるまちづくりを」、「17 パートナースHIPで目標を達成しよう」の4つを目標に掲げ、これらを達成するために、市民・事業者・行政といった多様な主体が連携・協力して取り組んでいきます。



2. 計画の概要

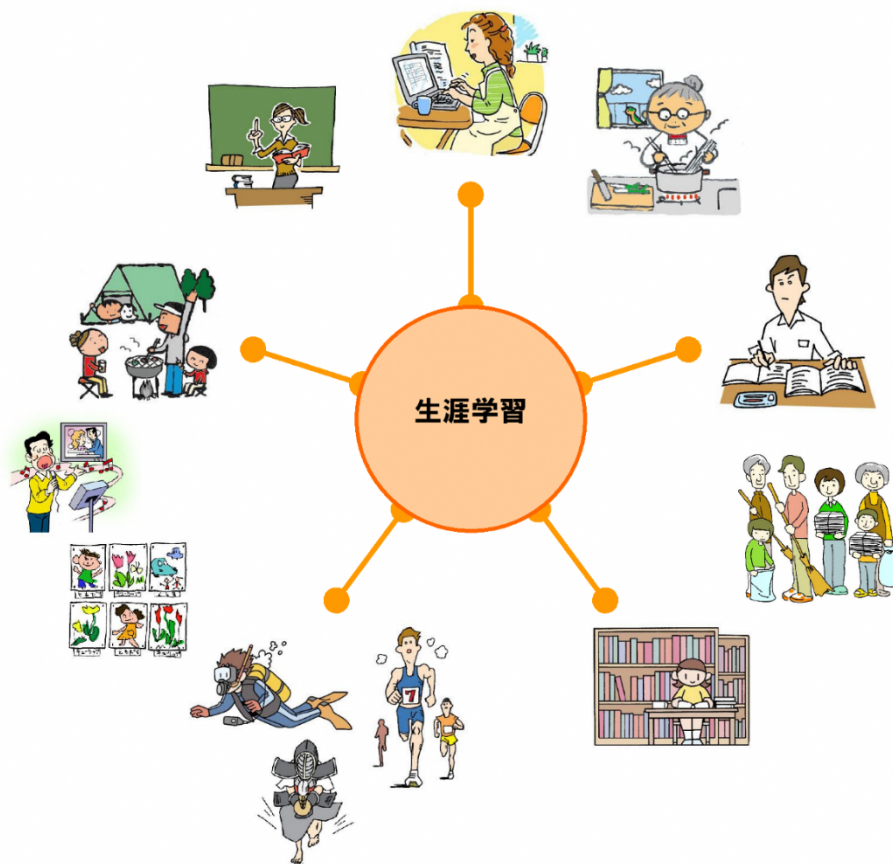
(1) 計画の位置づけ

本計画は、第6次守口市総合基本計画を上位計画とし、その基本目標の1つである「一人ひとりが自分らしく活躍できるまち」の実現を図るために、生涯学習を通して、具体的な施策を推進するための計画として位置づけます。

また、その他行政各部門で推進する各種計画や施策と連携し、市民が自ら学び、豊かな人生を築き、地域課題を解決していくための施策を推進するものとします。

(2) 計画の期間

本計画の実施期間は、第6次総合基本計画の前期基本計画と同期間の令和4年度から令和7年度までの4年間とします。



3. 計画の策定経過

○守口市の生涯学習に関するアンケート調査を実施しました。
計画策定に先立ち、今後の生涯学習事業を推進していくために、アンケート調査により生涯学習活動の参加や理由、生涯学習関連施設の利用状況などの現状をたずね、市民の意識や今後のニーズなどを把握しました。

【アンケート調査概要】

調査地域：守口市全域

調査期間：令和2年9月7日～令和2年9月25日

調査対象：守口市内在住の満18歳以上の市民

抽出方法：住民基本台帳より、1,500人を無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収／公共施設窓口配布・窓口回収箱

質問数：全28問

郵送配布数	回収数	回収率	施設回収数
1,500	648	43.2%	27

○守口市生涯学習推進会議において審議しました。

広く市民などから意見を聴取するために、市民や有識者、関係団体、関係機関などで組織された「守口市生涯学習推進会議」において、本計画についての意見交換及び審議を行いました。

○パブリックコメントを実施しました。

広く市民などから意見を聴取し、反映させるためにパブリックコメントを実施しました。

第2章 現状と課題

1. 守口市の生涯学習に関する現状
2. 守口市の生涯学習に関する課題のまとめ

1. 守口市の生涯学習の現状

(1) 統計とアンケート調査結果

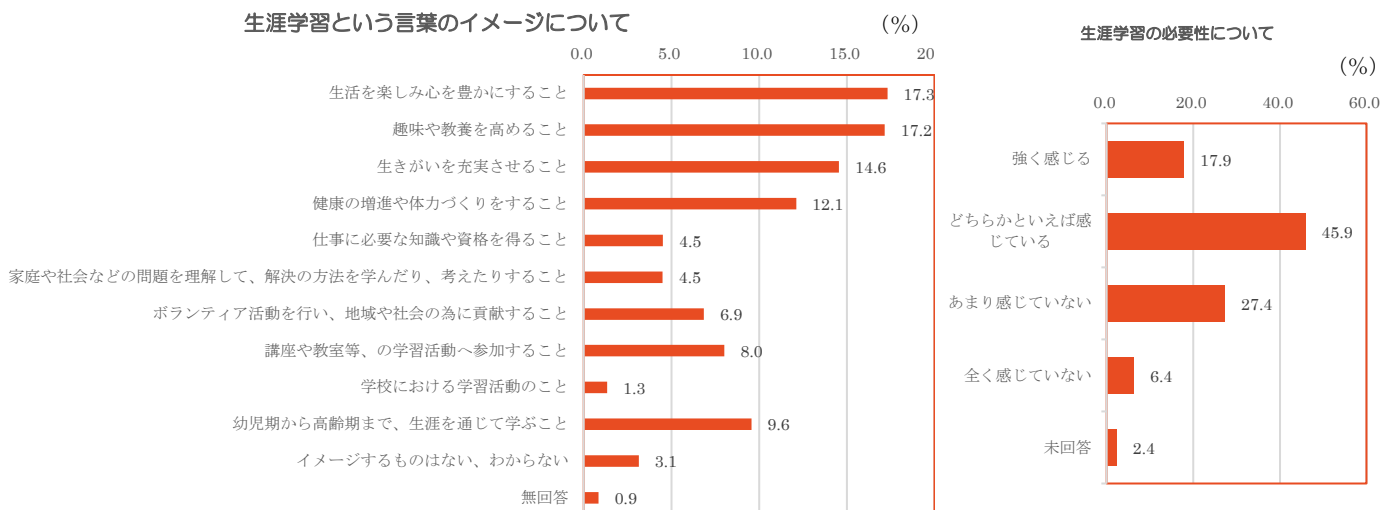
平成25年2月に「第2次生涯学習推進計画」を策定して9年が経過したことから、守口市における生涯学習の現状を把握し、新たな計画を策定する基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

回答者の性別は、男性45.9%、女性53.5%、その他が0.3%、無回答0.3%となり、年齢別では、回答者の65.1%が50代以上の回答となっています。また、居住年数で見ると、全体の51.0%が「30年以上」居住している回答となっています。

◆生涯学習について

「生涯学習という言葉からどのようなイメージを持ちますか」の問いで、「生活を楽しみ心を豊かにすること」が17.3%、「趣味や教養を高めること」が17.2%、「生きがいを充実させること」が14.6%となっており、人生において有意義な活動であると認識している人が多いという結果となっています。

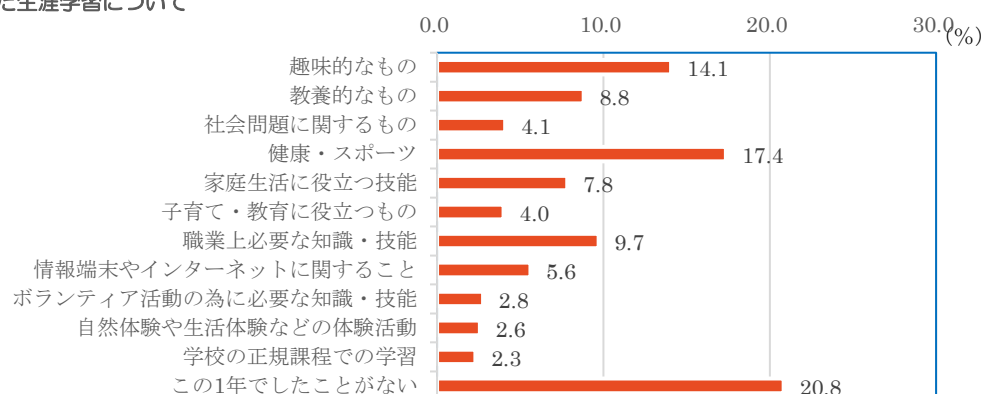
「生涯学習の必要性について」の問いでは、「強く感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた回答は63.8%で半数以上が「生涯学習」の必要性を感じています。



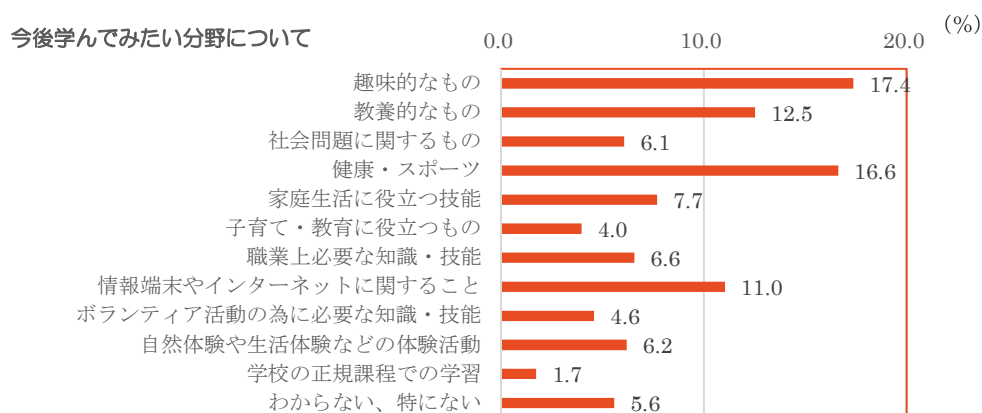
◆生涯学習活動について

「この1年くらいの間にした生涯学習について」の問いで、最も多かった回答は「健康・スポーツ」(17.4%)、次いで「趣味的なもの」(14.1%)、「職業上必要な知識・技能」(9.7%)の順になっています。また、「この1年でしたことがない」は20.8%となっています。

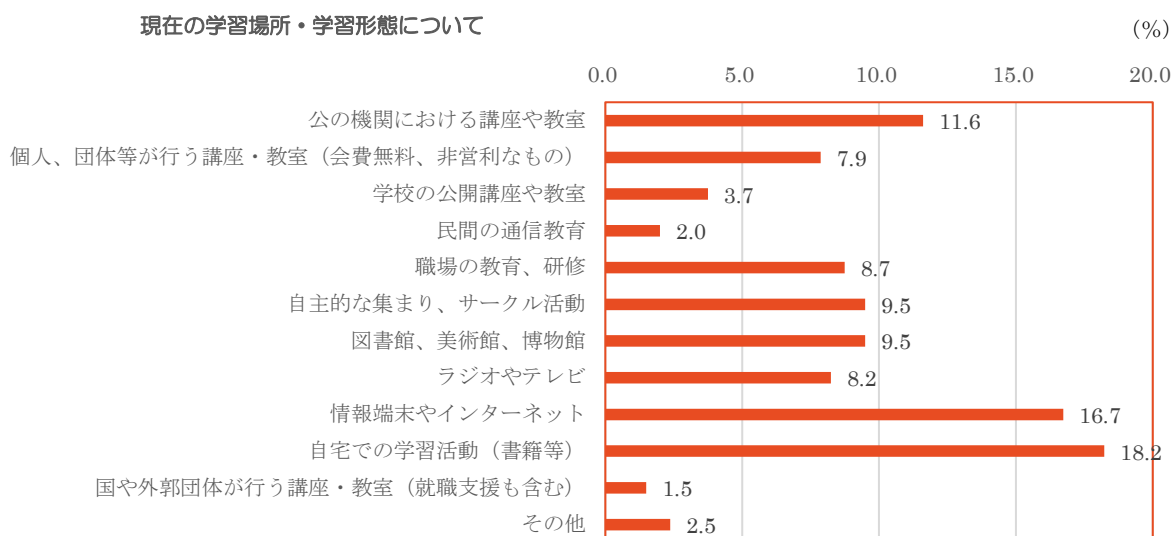
この1年くらいの間にした生涯学習について



「今後学んでみたい分野について」の問いで最も多かった回答は「趣味的なもの」(17.4%)、次いで「健康・スポーツ」(16.6%)の順となっており、「この1年くらいの間にした生涯学習について」の問いの回答と同じ項目が上位となっています。また、「教養的なもの」や「情報端末やインターネットに関すること」にも関心が高まっています。

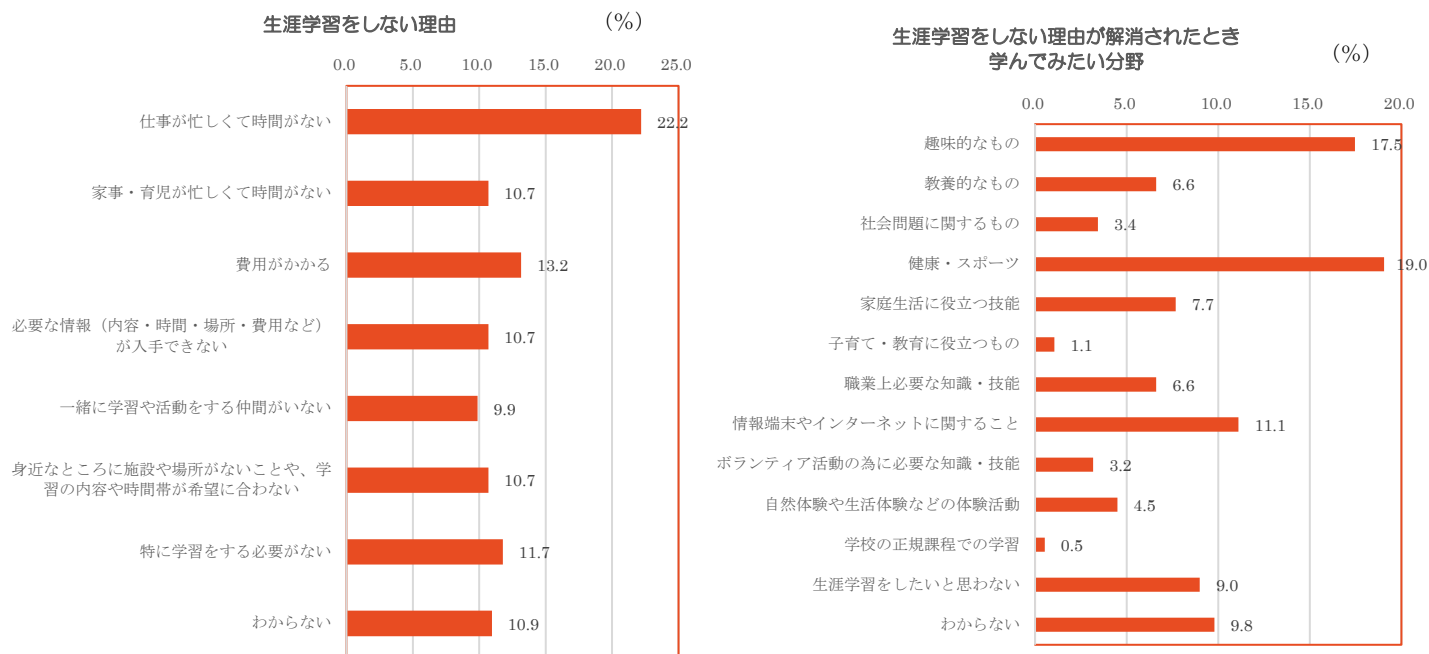


「現在の学習場所・学習形態について」の問いでは、「自宅での学習活動（書籍等）」(18.2%)が最も多く、次いで「情報端末やインターネット」(16.7%)、「公の機関における講座や教室」(11.6%)が上位となっています。

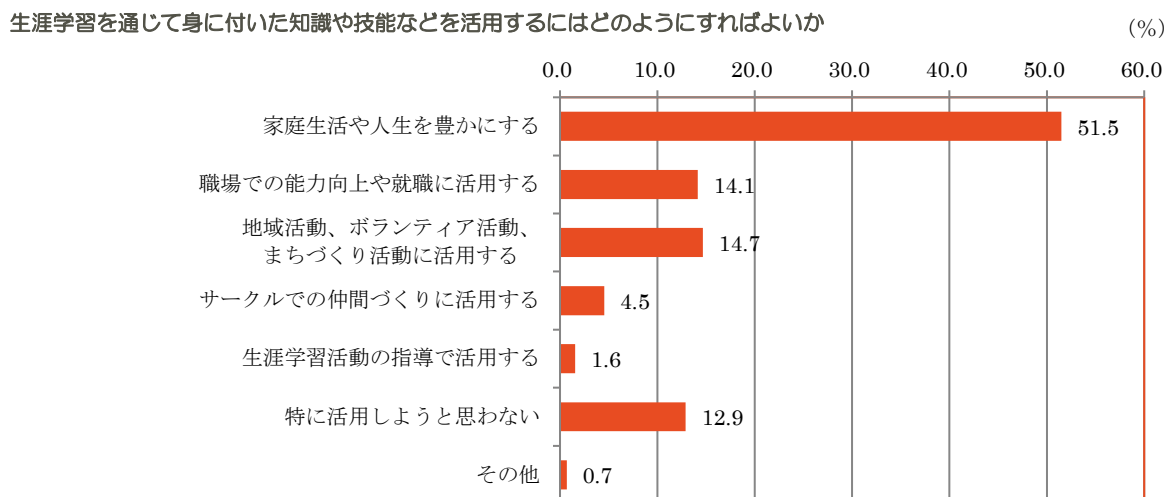


一方、生涯学習活動をしていないと回答した234人について、「生涯学習活動をしていない理由について」の問いでは、「仕事が忙しく、時間がない」(22.2%)、「費用がかかる」(13.2%)が多く、「特に学習する必要がない」(11.7%)と「わからない」(10.9%)を合わせた約2割の方が、生涯学習への認識が不足する結果となっています。

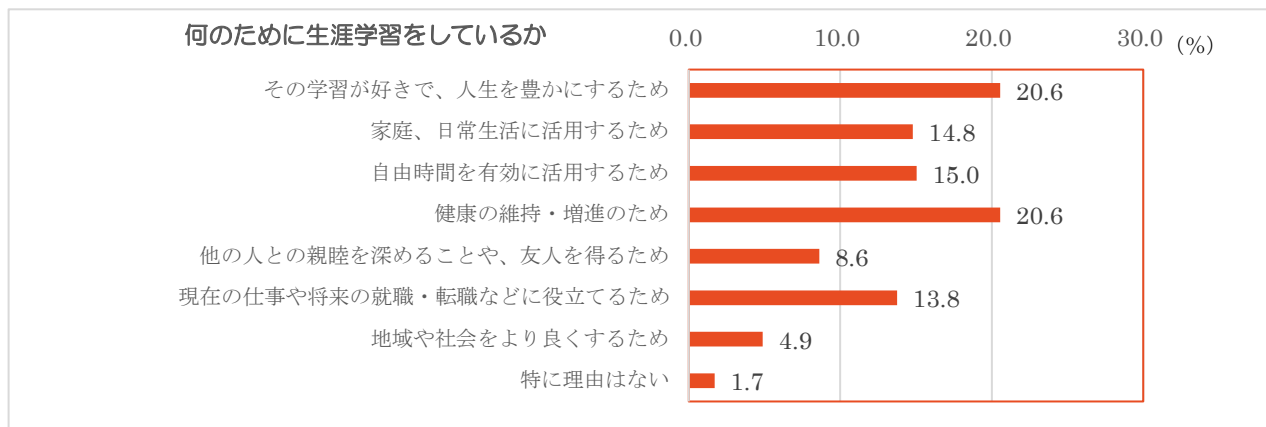
また、「生涯学習をしていない理由が解消されたとき学んでみたい分野」の問いでは、「健康・スポーツ」(19.0%)、「趣味的なもの」(17.5%)、「情報端末やインターネットに関すること」(11.1%)となっており、生涯学習活動をしていると回答した人の「今後学んでみたい分野について」の回答と同じ項目が上位を占めています。



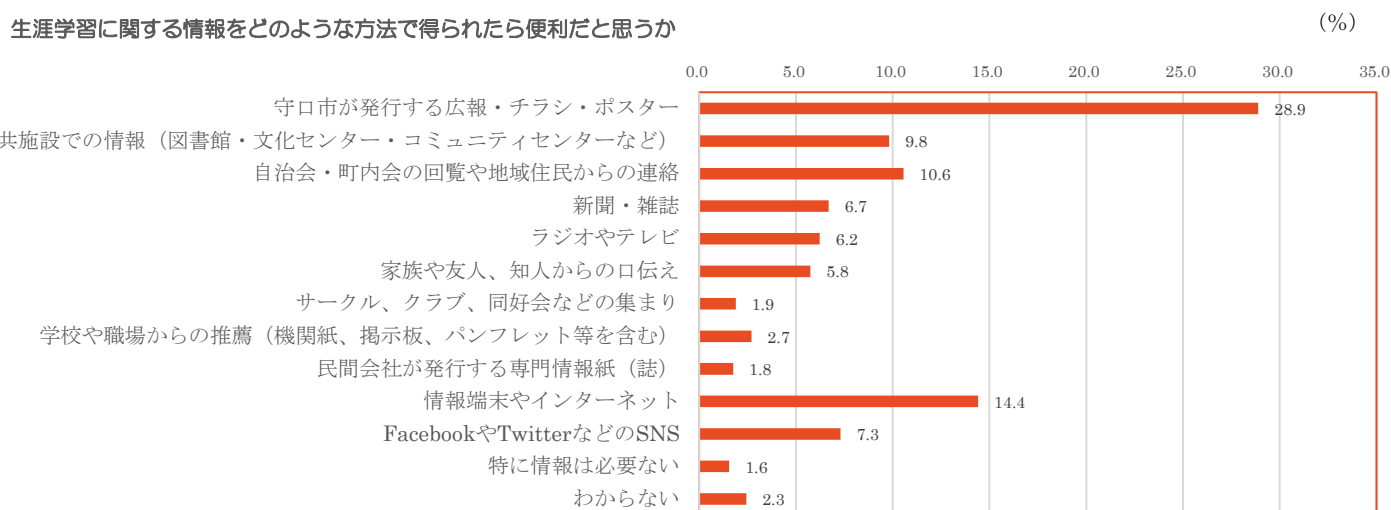
「生涯学習を通じて身に付いた知識や技能などを活用するにはどのようにすればよいか」の問いでは「家庭生活や人生を豊かにする」が51.5%と半数を超え、次いで「地域活動、ボランティア活動、まちづくり活動に活用する」(14.7%)、「職場での能力向上や就職に活用する」(14.1%)となっています。



生涯学習活動をしていると回答した409人について、「何のために生涯学習をしているか」の問いでは、「その学習が好きで、人生を豊かにするため」(20.6%)、「健康維持・増進のため」(20.6%)、「自由時間を有効に活用するため」(15.0%)が上位を占めています。

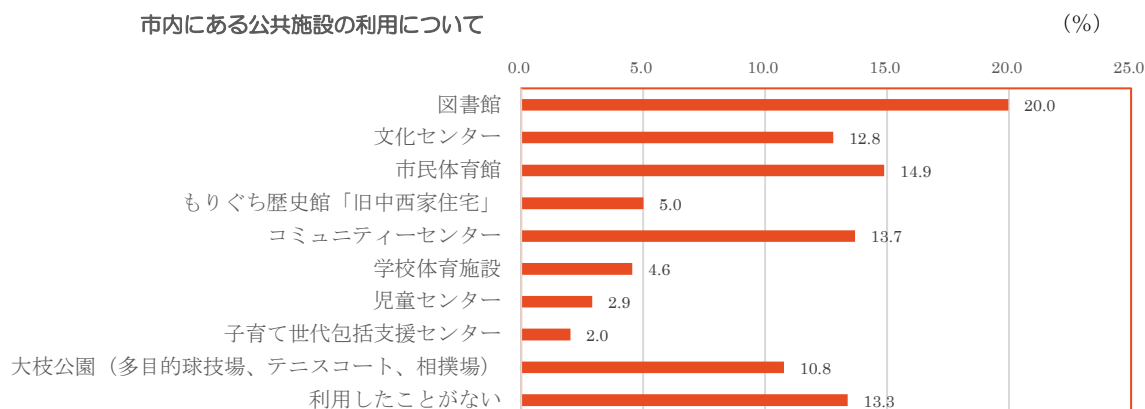


「生涯学習に関する情報をどのような方法で得られたら便利だと思うか」の問いでは、「守口市が発行する広報・チラシ・ポスター」が28.9%と最も多く、次いで、「情報端末やインターネット」(14.4%)、「自治会・町内会の回覧や地域住民からの連絡」(10.6%)と、紙媒体での情報収集が多いものの、時代のニーズに沿った情報端末やSNS等の活用にも期待が高まる結果となっています。

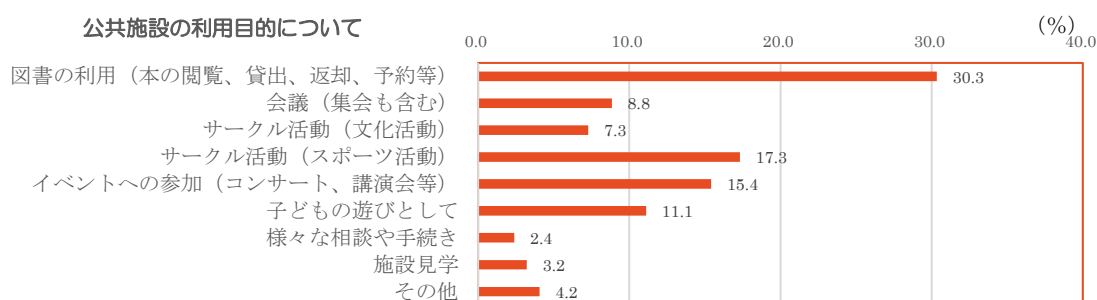


◆生涯学習施設の利用について

「市内にある公共施設の利用について」の問いでは、「図書館」(20.0%)が最も多く、次いで「市民体育館」(14.9%)、「コミュニティセンター」(13.7%)が上位を占めています。



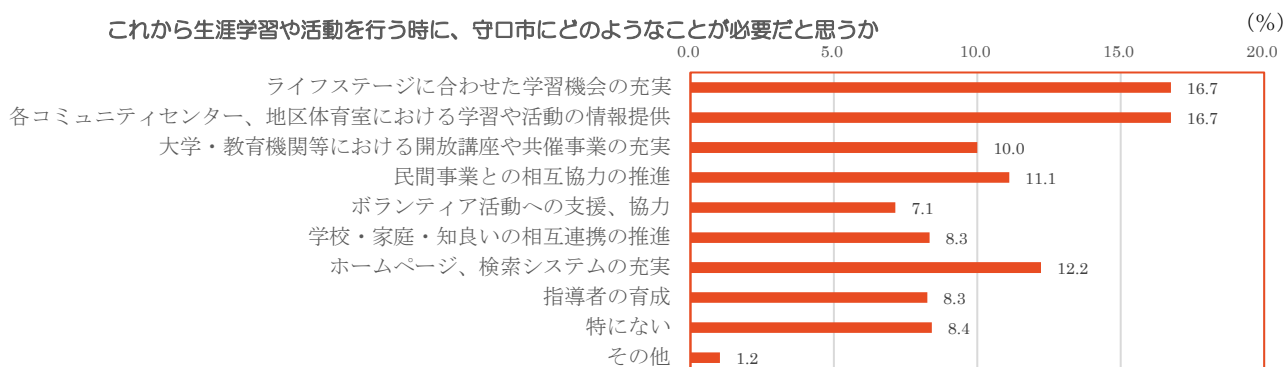
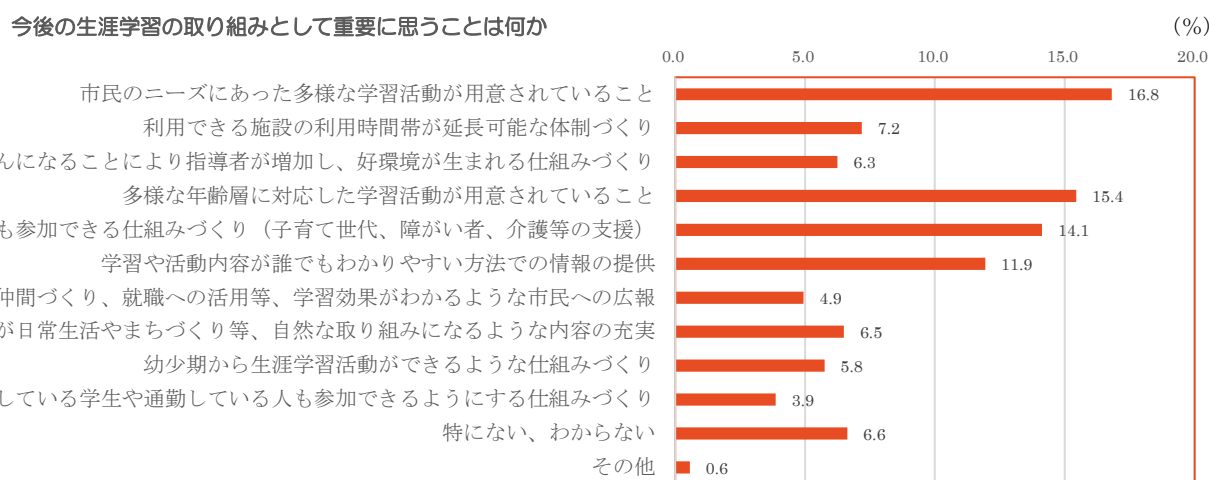
公共施設を利用したことがあると回答した 461 人について、「公共施設の利用目的について」の問いは、「図書の利用（本の閲覧、貸出、返却、予約等）」（30.3%）、「サークル活動（スポーツ活動）」（17.3%）「イベントへの参加（コンサート、講演会等）」（15.4%）が上位となっています。



◆生涯学習の今後の意向について

「今後の生涯学習の取り組みとして重要に思うことは何か」の問いでは、「市民のニーズにあった多様な学習活動が用意されていること」（16.8%）、「多様な年齢層に対応した学習活動が用意されていること」（15.4%）が多く、一方、「特にない、わからない」は 6.6% となっています。

また、「これから生涯学習や活動を行う時に、守口市にどのようなことが必要だと思うか」の問いでは、「ライフステージに合わせた学習機会の充実」と「各コミュニティセンター、地区体育室における学習や活動の情報提供」が共に 16.7%と上位を占めています。次いで「ホームページ、検索システムの充実」（12.2%）、「民間事業との相互協力の推進」（11.1%）となっています。

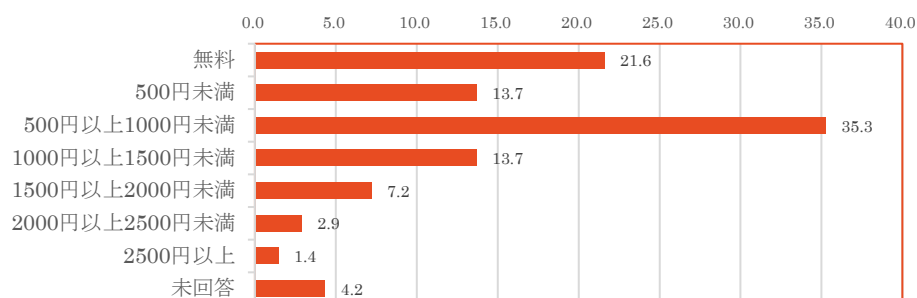


この1年で生涯学習活動をしたことがなく、今後学んでみたいと回答した143人について、「生涯学習活動に無理なく参加できる費用について」の問いでは、「500円以上1,000円未満」が35.3%と最も多くなっており、「無料」(21.6%)を13.7%上回っています。参加費用がかかってもよいという回答は、74.2%となっています。

「生涯学習活動を進めるうえで、大学や企業とどのように連携すればよいかについて」の問いでは、「大学等の教育機関や企業に公開講座を開いてもらう」(23.3%)が最も多く、次いで、「大学等の教育機関や企業から講師の派遣や指導をしてもらう」(21.2%)となり、一方、「わからない」が19.8%となっています。

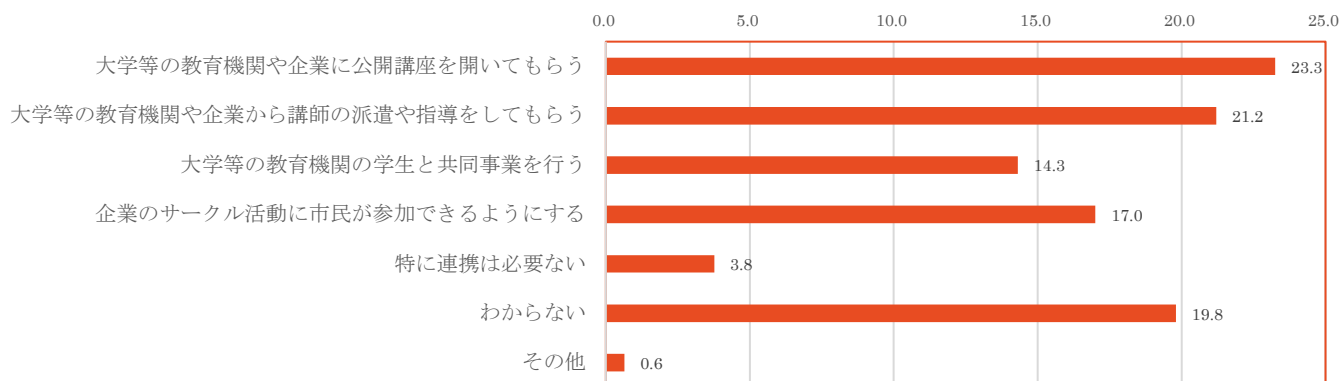
生涯学習活動に無理なく参加できる費用について

(%)



生涯学習活動を進めるうえで大学や企業とどのように連携すればよいか

(%)



(2) 第2次守口市生涯学習推進計画の取り組み状況

市民の生涯学習を推進していくために、平成25年に策定した「第2次守口市生涯学習推進計画」の第5章「生涯学習推進施策」に基づき、市民の生涯にわたる自主的な学習活動の支援を積極的に推進してきました。各項目の取り組み状況は以下のとおりです。

◆ライフステージなどに応じた学習環境の整備◆

市民の生涯学習活動に対するニーズは、時代の変化とともに多様化していることから、いつでも、どこでも情報の入手ができ、個人のニーズにあった学習活動に参加できるように、全庁的な推進体制づくりに努め、わかりやすい情報の提供を進めています。

① 乳幼児期における生涯学習と子育て支援の推進

- ・乳幼児期については、子どもと親がともに学べる環境づくりのために、さまざまな交流・ふれあいの場をつくり、人間形成の基礎となる家庭における教育力の向上や育児・子育て支援活動を行っています。

令和元年7月に開設された子育て世代包括支援センター「あえる」は、「出あえる・話しあえる・向きあえる・支えあえる・助けあえる」をコンセプトに妊娠期から子育て期までお子様と保護者の切れ目ない支援サービスを提供しています。

- ・大阪府教育委員会の「親学習リーダー養成講座」を修了された方々による、ワークショップ型の子育て講座を開催し、親となる準備期の中学生・高校生、子育て中の人、子育てを終えた人など幅広い世代を対象として、「親」としてのあり方を学ぶ家庭教育支援活動を行っています。

② 青少年期における生涯学習活動の推進

- ・子どもたちが、地域の中でさまざまな体験や交流を通して、生きる力を身につけ人間関係を豊かにできるように、家庭や地域における役割について認識を高めています。

青少年関係団体の指導者を確保し、育成を図り、「PTA協議会」や「青少年育成指導員連絡協議会」等の団体と連携を図り、活動の充実に努めています。

- ・地域の学校施設を子どもたちの文化・スポーツ活動の場、地域住民の諸活動の場として積極的に開放し、それらの活動を担っていくボランティアや指導者を養成するなどの支援を継続しています。

③ 成人期における多様な生涯学習

- ・すべての人が充実した生活を送ることができるように、識字・日本語学習、基礎的な知識や科学的見方を身につける学習など、成人としての生活を支援する学習機会を提供し、成人基礎教育の充実に努めています。

- ・守口市立図書館をはじめ、守口文化センターや守口市民体育館、コミュニティセンターなど生涯学習拠点の利便性を高めるためにWEBサービス等の情報発信力の強化を図り、幅広いニーズに対応した学習機会を提供しています。

- ・令和2年度に新たに開館した守口市立図書館ではボランティア団体による本の読み聞かせや絵本の原画展示などのイベントや講演会を開催し、ボランティア団体への活動の機会や場の提供を行い、市民ボランティアの育成と活用のための支援を行っています。

生涯学習フロアでは、型染めのワークショップやアーティストを招いてのコンサートなど、市民の生涯学習意欲を高めるイベントを開催するなど、多くの市民が気軽に生涯学

習に触れる機会を提供しています。

④ 高齢期における生涯学習

- ・年代や健康状態に応じて学習のニーズが異なることから、教養・趣味・健康・文化芸術・スポーツなど、自己実現や仲間づくりを目指すものからボランティア活動、まちづくりなど多様なプログラムを提供し、地域での活動が活発になる地域づくりを推進しています。

◆「地域コミュニティ」の育成と活性化の支援◆

価値観やライフスタイルの多様化、都市化、少子高齢化などにより、人と人の絆が希薄になってきており、東日本大震災でも指摘があったように、「地域コミュニティ」の緊密さが、いざという時の「地域の防災力」や「地域の助け合い」につながるということが明らかになっています。

このようなことから、生涯学習の成果を「地域コミュニティ」の再生・再構築などの地域課題の解決に活かすことができるよう支援しています。

① 地域の特色を活かした自主的な市民活動の支援

- ・本市には、東海道 57 次の宿場町の趣を残す文祿堤などの貴重な歴史的資源や景観が存在し、市指定有形文化財であるもりぐち歴史館「旧中西家住宅」、古寺社、石造物や美術工芸品などの有形文化財、府指定天然記念物の樹木などがあります。また、市指定無形民俗文化財である寺方提灯踊りのほか、秋祭りでのだんじりなども地域において継承されています。

地域にある歴史や文化・スポーツを通して、郷土愛を育み、地域を理解し、地域を愛し、市民が自分の住んでいるまちに誇りがもてる生涯学習活動を進めています。

- ・市内では 8 箇所のコミュニティセンターが整備され、市民の文化・スポーツ活動の場として活用されています。また、令和 2 年度には、守口市生涯学習情報センターを全面リニューアルし、「守口市立図書館」が誕生し、市民が主体的に集い・学び・交流する新たな場となっています。

② 学びの成果を発表、表彰、感謝する仕組みづくり

- ・毎年行われる市民文化祭や市美術展覧会において、学習成果の展示や発表の場を設けて市民への成果を公表しています。文化・芸術活動、スポーツ活動の分野では、優秀な成果をあげた人に対して表彰し、また、長年指導者として生涯学習の推進に貢献した人に対して感謝状を贈り、参加者や指導者のモチベーションを高める仕組みづくりを進めています。

◆生涯学習の総合的な推進◆

市民の生涯学習活動を支援するための施策を一層推進していくためには、行政のみならず、生涯学習の主体である市民や団体などの意見を取り入れる仕組みや、市民協働の仕組みづくりを進める必要があるため、既存組織の強化を行うとともに、新たな仕組みづくりの構築に努めています。

① 全庁的な推進体制づくり

- ・本市では、平成 28 年 4 月から、生涯学習及びスポーツ・文化に関する事務について、

市民の生涯学習活動が自己の向上を図るとともに、よりよい地域づくりに結びつくように、また、教育の枠を越えて地域振興や健康づくりなどの関連行政と合わせて総合的に推進できるよう、市長部局に一元化を行いました。

- ・事務局機能の充実

多岐にわたる生涯学習の関連事業が、総合的、効果的かつ効率的に行われるように、市長部局と教育委員会などの連絡・調整を図り、事務局機能の充実に努めています。

② 市民参加による推進体制づくり

- ・「守口市生涯学習推進会議」の活用

学識経験者、市民代表、各種団体など幅広く市民等の参加を経て構成されている「守口市生涯学習推進会議」を定期的開催し、その設置目的に応じた活用を図っています。

- ・生涯学習援助基金活動助成事業の実施

市民の生涯学習の意欲を高め、生涯学習活動に期待できる事業や活動に対して助成金を交付する助成制度を取り入れています。

これまでに、児童作品展や親まなびワークショップ、歴史文化マップの作成及び文化講演会など、市民自らが企画・運営を行い、学習成果を活かす場の拡充に努めています。

③ 情報提供内容の充実

- ・生涯学習に関する情報を収集する仕組みづくり

行政、市民、大学、企業など多様な主体が様々な生涯学習活動を展開しており、それらの情報を一元的に収集するための仕組みづくりを進めています。

- ・情報提供を行う事務局体制の強化

総合的な生涯学習情報を市民にわかりやすく提供するため、事務局体制の強化に努めています。

- ・感染症等に備えた生涯学習環境の整備

新型コロナウイルス感染症等の影響で、施設を利用できない場合におけるオンライン環境を活用した学習機会の提供を推進しています。

④ 情報提供のシステムづくり

- ・ホームページやSNSの利用

パソコンや携帯電話などを利用し、情報収集する市民が増加していることから、生涯学習に関する情報を市のホームページ、守口市立図書館や守口文化センター及び守口市民体育館を運営する指定管理者とも連携し、Twitter や Facebook、Instagram をはじめとする SNS での情報提供、環境整備に努め、あらゆる世代がいつでも、どこでも情報収集ができるシステムづくりに努めています。

- ・「エフエムもりぐち」の行政情報番組の活用

「エフエムもりぐち」の行政情報番組などを活用し、FM ハナコによる生涯学習情報を提供できる機会の拡大に努めています。

⑤ 活動経費などの支援

- ・事業の実施により、他の団体や市民の生涯学習の意識を高め、生涯学習活動が期待できる事業や活動に対して助成金を交付する生涯学習援助基金助成金を活用し、制度のPRに努め、市民の自発的な生涯学習活動を推進しています。

2. 守口市の生涯学習に関する課題のまとめ

令和2年9月に行った生涯学習に関するアンケートの調査結果と第2次守口市生涯学習推進計画の取り組み状況に対する課題を下記の3つにまとめました。

(1) 学習環境の整備と体制づくり

市民の自主的な学習活動を促進するために、生涯学習関連施設情報や学習内容などの生涯学習に関し、さらなる情報の提供が求められます。

守口市立図書館をはじめ、コミュニティセンターや子育て世代包括支援センター「あえる」、大枝公園などの施設が開館したことにより、新たな生涯学習関連施設としての活用が期待されています。

そのため、生涯学習関連施設の整備や活用を図るとともに生涯学習を支援する体制整備や新たなツールとしてLINEやInstagramなどのSNSを駆使してあらゆる世代が手軽に情報収集できる体制づくりが必要です。

(2) ライフステージに応じた生涯学習活動の充実

市民が望む生涯学習の取り組みとしては、「これから生涯学習活動を行う時に、守口市にどのようなことが必要だと思うか」の問いに対して、〈ライフステージに応じた学習機会の充実〉や〈公共施設における学習や活動の情報提供〉があげられており、それぞれの生活環境や年齢により生涯学習に求めることが異なっています。

また、「生涯学習の必要性について」の問いで半数以上が「生涯学習」の必要性を感じていると回答しており、生涯学習への参加意向があることから、社会的な活動への参加・参画につながるような学習内容の検討が求められます。

そのため、生涯学習情報を発信する体系や多様な学習内容の充実が必要です。

(3) 誰もが参加できる学びの提供

生涯学習の今後の意向について、「今後の生涯学習の取り組みとして重要に思うことは何か」の問いに対して、〈市民のニーズに多様な学習活動が用意されていること〉に期待する回答が多く、また、「今後学んでみたい分野について」の問いでは、特に、趣味や教養、健康・スポーツに関することに関心が高くなっており、市民のニーズに沿ったテーマ別の生涯学習メニューの提供が求められています。

そのため、市民のライフスタイルに合わせた学習機会や生涯学習活動の提供が必要です。

第3章 今後の取り組みに向けて

1. 第6次守口市総合基本計画における位置づけ
2. 基本理念

1. 第6次守口市総合基本計画における位置づけ

守口市では、令和3年度から、市の新たな政策方針の羅針盤となる第6次守口市総合基本計画を策定し、単に「便利で住み良いまち」から、安心して幸せに「いつまでも守口市に住み続けたい」と考える市民が定住する都市を令和12(2030)年度までに築くことを目指していくという考え方を踏まえ、将来都市像を「いつまでも住み続けたいまち 守口～暮らしやすさがちょうどええ♪～」と定めています。

総合基本計画においては、将来都市像の実現に向けた取組施策として、「生涯学習・スポーツ」及び「文化」の項目を掲げています。

本計画は、総合基本計画における取組施策のうち、この「生涯学習・スポーツ」及び「文化」における取組内容を具現化するために策定するものです。

【総合基本計画における生涯学習について】

生涯学習・スポーツ

(1) 5年後の守口像

- 守口市立図書館において、図書やレファレンスサービス等を活用し、必要とする情報を市民が自ら収集し、生涯学習等に役立てています。
- 生涯学習施設の老朽化への対応策が適切に検討・実施され、市民が生涯学習活動を行うことができます。
- 指導者の育成により、市民のスポーツ・レクリエーション活動が継続されています。

(2) 施策を取り巻く状況

- 国は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツを中心として生涯学習を推進しています。
- 人生100年時代を見据え、自ら学ぶ意思に基づき、手段や方法を選んで生涯にわたって学習することがさらに重要になっています。

(3) 5年後の守口像実現に向けた現状と課題

- 令和2年度に、守口市立図書館を開館し、図書の貸出しやレファレンスサービスを提供しています。社会状況の変化により、市民の抱える課題は今後も増え続けることが予想されるため、市民が必要な情報を自ら収集できる環境を継続的に整備していくことが課題です。
- 市民一人ひとりが、生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、生涯学習活動を推進することが必要ですが、守口文化センター及び守口市民体育館の施設が老朽化していることから、市民ニーズを踏まえ施設更新のあり方を検討することが課題です。
- スポーツ・レクリエーションの推進に携わる指導者の高齢化が進んでいます。スポーツ・レクリエーション活動を継続していくために、指導者を育成することが課題です。

(4) 主な取組

① 守口市立図書館を活用した情報収集・読書環境の充実

- 市民が様々な図書にふれることができるように、市民ニーズを踏まえて、図書を計画的に収集し、蔵書を拡充します。

- 市民の課題解決を支援するため、情報発信やレファレンスサービスを充実します。
- 読書習慣のきっかけを提供するため、親子向けの読み聞かせ講座や児童・生徒が読書への興味を高めるイベント等を開催します。

② 生涯学習活動を行うための環境の充実

- 市民の生涯学習活動を支援するため、守口文化センターと守口市民体育館の事業等について、関係団体と連携して情報発信を行います。
- 生涯学習施設が老朽化していることから、アンケートやSNSの活用により把握した市民ニーズを踏まえ、今後の活動環境の整備手法について検討します。
- 守口市立図書館において、市民が「集い・学び・交流する」ことを目的とした様々な講座を企画し、実施します。

③ スポーツ・レクリエーション活動の推進

- スポーツ・レクリエーション活動の指導者を育成するため、スポーツ推進委員や関係団体と協力し、初心者から上級者まで気軽に参加できる事業やきっかけづくりになる取り組みを実施します。
- スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会を充実するため、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション大会を開催します。

文化

(1) 5年後の守口像

- 守口市美術展覧会や日本南画院大作展をはじめ、身近に文化・芸術にふれることで文化・芸術活動を自ら行う市民が増えています。
- 指導者の育成や関係団体の協力によって、市民の文化・芸術活動の支援体制が構築され、市民による文化・芸術活動が活発に行われています。
- 文化財の適切な保存や展示会の活用により、文化財についての情報が発信され、市民が誇れる魅力の一つとなっています。

(2) 施策を取り巻く状況

- 国においては、文化・芸術の担い手の高齢化による継承や文化財保護が喫緊の課題とされています。
- 本市においても、文化・芸術の継承・振興や文化財の保護・活用は、守口市の魅力を継承し、発信していくうえで重要です。

(3) 5年後の守口像実現に向けた現状と課題

- 守口市美術展覧会や日本南画院大作展を開催し、市民が身近に文化・芸術にふれる機会を提供しています。新たな文化・芸術が生まれるまちとして信仰を図るためには、様々な機会を通じて市民の文化・芸術への意欲を醸成していくことが課題です。
- 大阪国際大学と文化・芸術に関する提携を締結し、文化・芸術の振興をしていきます。文化・芸術の推進に携わる指導者の高齢化が進んでいることから、今後、市民の文化・芸術活動を継続的に実施していくための支援体制を確保が課題です。
- 本市には、東海道57次の宿場町「守口宿」の趣を残す文祿堤などの史跡のほか、由緒ある寺社仏閣や旧中西家住宅・中西家文書・大枝中村家文書、また寺方提灯踊りなど

有形・無形の文化財があり、貴重な財産となっています。このような有形・無形の文化財を適正に保存し、活用していくことが課題です。

(4) 主な取組

① 文化・芸術を身近に感じられる機会の提供

●市民の文化・芸術への意識を醸成するため、関係団体と協力し、文化・芸術を身近に感じられるような事業やきっかけづくりになる取り組みを実施します。

●提携大学などとも協力し、本市の歴史や芸術・文化に関する講演会や展示会などを開催します。

② 市民の文化・芸術活動を支援するための体制の確保

●市民の文化・芸術活動を支援する体制を確保するため、指導者の育成や専門職員の配置、大学との連携強化に取り組みます。

③ 本市の魅力資源としての文化財の保存と活用

●東海道57次の宿場町としての面影が残る文禄堤のまちなみを保存・活用し、市の歴史や文化の継承と魅力創造に取り組みます。

●文化財を保存・活用するため、文化財のデジタルアーカイブ化を行い、デジタルデータを「もりぐち歴史館」等で展示します。

●市民が歴史や文化に親しみ、愛着を持ってもらうため、市内に点在する史跡や文化財、施設をめぐるルートを紹介した「もりぐちぶらり歩きマップ」を更新し、広く情報提供を行います。



【守口市の文化財や史跡散策コースを記載した守口文化財ガイドマップ(令和3年10月作成)】

2. 基本理念

今後の取組に向け、総合基本計画に定める取組施策を具現化していくための基本理念として、以下のとおり定めます。

誰でも いつでも どこでも 学べるまち 守口
～学びやすさが、ちょっとええ♪～



【令和2年6月に開館した守口市立図書館】



【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において守口市がホストタウンとなったガンビア共和国のオリンピック・パラリンピック選手団】

第4章 生涯学習推進施策

1. 学習情報提供
2. 学習施設の整備と活用
3. 学習支援と体制整備
4. 人材の発掘と育成
5. テーマ別の生涯学習
6. 学校・家庭・地域活動への支援

生涯学習推進施策

第2章における現状と課題の分析結果を踏まえ、基本理念の達成に向け、本計画期間においては、以下のとおり生涯学習に関する施策を推進していきます。

1. 学習情報提供



多くの情報をわかりやすく掲載することや、新たな情報ツールを活用するなど、市民が求めている情報を、いつでもどこでも簡単に手に入れることができるように、広報誌や市ホームページ、SNS、ラジオ、チラシやポスターなどの様々な方法でわかりやすい情報提供を行います。

また、市民の学習ニーズを学習活動に結び付けていくために、一人ひとりのさまざまな学習相談に適切に対応できるように努めます。施策の体系に沿って、具体的な施策を展開します。

【主な取り組み】

- ① ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、SNSでの情報発信を重点的に行い、若い人やこれまで生涯学習に興味がなかった人たちにも気軽にわかりやすく情報が共有される環境を構築します。
- ② 広報誌や市ホームページ、ラジオの市広報番組を通して、多くの情報をわかりやすく提供します。
- ③ 市民のさまざまな学習相談や問い合わせに対応し、利用者のライフスタイルに合う情報提供方法を整備することで、一人ひとりの学びを支援します。
- ④ イベントや講座の申し込みなど、オンラインでの申請が可能になるようシステムを整備していきます。

2. 学習施設の整備と活用



本市は、守口文化センター、守口市民体育館、もりぐち歴史館などのさまざまな生涯学習関連施設を設置し、その整備に努めています。令和2年6月には、守口市立図書館が開館したことにより、新たな学びの場が増えました。

アンケート調査結果では、守口市立図書館の利用状況が高いことから、引き続き多くの方が気軽に利用しやすい場としての取り組みを進めます。また、その他の生涯学習関連施設も市民にとって身近で利用しやすい場となるように、施設の利用案内や利用状況などをわかりやすく伝えることや、施設を活用したさまざまなイベントや講座などの開催を通して、参加しやすい環境づくりを進め、市民の誰もが安全で快適に学べるように施設の充実を図ります。

【主な取り組み】

- ① 図書管理システムの機能改良を図り、電子図書館導入など、図書館利用者へのサービス向上の取り組みを進めます。

- ② 子どもの読書習慣を身に付ける機会として、読書通帳の普及をはじめ、読み聞かせやお話し会などを開催し、身近な図書館としての取り組みを進めます。
- ③ 守口文化センターでは、市民の身近な活動の場として、地域の特性を活かした個性豊かなまちづくりを進めるために、文化芸術活動のさらなる充実に努めるとともに、図書室の充実を図ります。
- ④ 守口市民体育館や大枝公園でのスポーツ大会などの開催を通じて、市民がスポーツ活動に取り組み、その成果を発揮できる場として活用します。
- ⑤ 市立学校の体育施設を開放し、身近に利用できる体育施設を増やし、市民の自主的な体育、スポーツ・レクリエーション活動を活発にします。
- ⑥ 外国籍や障がいのある方にも広く生涯学習施設を活用していただきやすい環境を整えるために、施設のバリアフリー化や多言語対応などに取り組みます。

3. 学習支援の体制整備



市民の誰もが学習に興味をもち、興味をもった学習活動に気軽に参加できる機会を充実させ、きっかけづくりや、仲間づくりにつなげ、ともに学べる環境づくりを進めます。さらに、子育て家庭や外国籍住民など、いつでもどこでも気軽に学習に取り組み、社会参加が進むよう支援していきます。

アンケート調査結果では、学びたいときに困る理由として、「費用がかかりすぎる」、「近くに施設（学習の場）がない」、「仕事が忙しい・時間がない」などの課題があり、これらを踏まえた学習機会の提供に努めていきます。

【主な取り組み】

- ① 様々な生活環境の中で暮らす市民に対して、「費用」・「場所」・「時間」などに配慮した学習機会の提供や、参加しやすい環境となるように、保育付きや手話通訳者を配置する講座やイベントなどを実施し、誰もが学習活動に積極的に参加できるように支援していきます。
- ② 守口市立図書館や守口文化センター、各コミュニティセンターで子育て家庭を対象に、親子教室や育児講座のほか、地域と親子の交流促進を図るためのイベントなどを実施し、子育てに関する情報交換や子育て相談を充実します。
- ③ 生涯学習活動に対する課題について、市民のニーズに応えるため、誰でも気軽に参加しやすいオンラインでの事業やSNSを駆使したイベントを開催していきます。
- ④ 子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくために、本に親しみをもち、本にふれる機会としてボランティア団体による絵本の読み聞かせや紙芝居などの取り組みを進めます。
- ⑤ 北河内地区唯一の夜間中学である守口市立さつき学園夜間学級において、義務教育を修了していない人や十分な教育を受けることができなかつた人、外国籍の人たちの学びたいという願いに対応して幅広い教育を行うなど、引き続き学びの機会を確保していきます。
- ⑥ 義務教育修了後も生涯にわたって学び続けることを望む人々のために、読み書きや計算等の基礎学習の場を提供して、基礎学力を身に付けることのできる成人基礎学習講

座「あけぼの教室」を引き続き開講します。

- ⑦ 外国籍の方が地域社会の一員として円滑なコミュニケーションを図れるようになるための日本語習得の支援として、利用者のレベルに合わせた少人数制のレッスンや無料のおしゃべり広場などを行う「外国人のためのにほんご教室」を開講し、引き続き開かれた国際交流を推進します。

4. 人材の発掘と育成



地域における学習活動の支援を行うために、行政と地域の人材が連携し、市民の学習活動が円滑に行われるように、地域全体で支え合うしくみづくりを進めます。

また、様々な学習活動によって得た知識や技術を活かし、地域全体で学習活動を支える人材づくりを進めます。

【主な取り組み】

- ① 大阪府教育委員会の「親学習リーダー養成講座」を修了された親学習リーダーの育成を図り、幅広い世代を対象として、「親」としてのあり方を学ぶ家庭教育支援活動を行います。
- ② 生涯学習援助基金助成金を活用し、他の団体や市民の生涯学習の意識を高め、生涯学習活動が期待できる事業や市民の自発的な生涯学習活動を推進します。
- ③ 守口市立図書館において、絵本の読み聞かせボランティアの「養成講座」や「ステップアップ講座」を開講し、子どもの読書活動を推進していくとともに、地域とのつながりを増やしていきます。

5. テーマ別の生涯学習



本市には、地域の資源として、歴史や文化資産・遺産が数多く存在し、市民にとってかけがえのない財産となっています。より多くの人に魅力を発信するため活用の幅を広げていきます。

新たに開館した守口市立図書館は、図書館機能としてだけでなく、生涯学習機能を期待する声も多く、民間のノウハウを最大限に生かすことのできる指定管理者制度を導入することにより、今までにない視点から「集い・学び・交流する」図書館として、市民ニーズに沿った生涯学習を提供していきます。

スポーツ分野では、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録し、聖火イベントの誘致などに取り組んだ経験を活かし、ニュースポーツを推奨するスポーツのまちづくりを推進していきます。

これらの地域の資源を活用し、人生100年時代を見据え、ライフステージに応じた学習や、豊富な経験をもった人材育成、歴史遺産や伝統を大切にしたい郷土愛を育むまちづくりを進めていきます。

【主な取り組み】

- ① 郷土愛を育む生涯学習を進めます

- ・市内の文化資産や遺産、歴史の魅力を広く市民に伝えるために、守口市立図書館内にある郷土資料展示室では、郷土文化や歴史に関する資料展示、講座などを実施するほか、郷土にゆかりのある作家のイベントを開催するなど守口市に関わる資料を引き続き紹介します。
- ・考古学教室の開催や文化財を巡る「もりぐちぶらりあるきマップ」の作成など、市内に点在する文化財の魅力を発信します。
- ・文化情報の拠点であるもりぐち歴史館では、市内外を問わず多くの方に守口市を知ってもらうきっかけの一つとなる武家屋敷ならではのイベントを開催していますが、近隣の大阪国際大学と連携するなどし、引き続き内容の充実に努めます。
- ・もりぐち歴史館でのイベントを通じて、広く市民に郷土愛を育み、自分のまちに誇りを持ってもらうために、主に地域の幼稚園や認定こども園の園児、小学校の児童たちを対象とした「端午の節句」や「七夕まつり」、「節分の豆撒き」、「ひな祭り」といった四季折々のイベントを開催します。

② 守口市立図書館を活かした生涯学習を進めます

- ・新たに開館した守口市立図書館と市立小・中学校図書館との連携を推進していきます。
- ・ホールや会議室をはじめとした交流スペースや市内公共施設では最大の自習室などの多様なニーズに対応できる環境を活用し、障がいの有無や年齢、性別、国籍を問わず、誰もが楽しめるワークショップや文化・スポーツ教室、コンサートなどを企画することで、幅広い年齢の方たちに利用していただき、自発的な生涯学習活動を推進していきます。

③ オリンピック・パラリンピックを活かした生涯学習を進めます

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの経験を活かし、ニュースポーツの大会を支援し、大会への参加啓発を行うなど、ニュースポーツの魅力や楽しさ、親しむ機会を充実します。
- ・ボッチャやフリースロー、ペタンクやスカイクロスといった、子どもから高齢者まで、また障がいの有無に関係なく一緒にプレーできる安全性とゲーム感覚が特徴のニュースポーツの普及を推進します。
- ・市民のスポーツ意欲を高めるために、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーション大会を開催します。講座の開催など各種スポーツやレクリエーション活動に取り組むなど生涯にわたっていつでも気軽にスポーツを楽しめ、スポーツを通したまちづくりを進めます。

6. 学校・家庭・地域活動への支援



都市化、少子化の進行など社会の急激な変化に伴い、家庭での教育力の低下や地域でのコミュニケーション意識の希薄化が指摘されている中、元気ですこやかな子どもを育てるため、学校教育だけでなく、家庭や地域の教育力の向上に向けた学校・家庭・地域の連携に努めます。

【主な取り組み】

- ① 地域の子どもたちがより身近に読書に親しむことができるように、読み聞かせボランティアに対して児童書などの貸し出し支援を進めます。
- ② 夏休みや冬休みの長期休暇期間に、児童クラブに絵本の読み聞かせボランティアを派遣し、子どもの読書活動を推進していきます。
- ③ 地域の子どもたちにとっての文化芸術の魅力の発見や郷土愛を育成するきっかけとなる活動を進めるために、社会教育関係団体の活動をより一層支援します。
- ④ 子どもや親子を対象に、「文化活動体験講座」や「こども考古学教室」などのさまざまなワークショップを実施し、それらの体験を通して歴史や文化を知り、新たな分野への興味や関心を高め、学ぶ喜びを身に付ける機会を充実します。

第5章 計画の推進にあたって

1. 総合的な体制づくり
2. 連携・協働による生涯学習推進
3. PDCA サイクルによる進行管理

1. 総合的な体制づくり

本計画における生涯学習に関する施策を総合的・効果的に実施していくために、本市市民生活部生涯学習・スポーツ振興課において、計画の進行管理を行い、施策の実現に向けて生涯学習の振興を図ります。

さらに、学識経験者、市民代表、各種団体などで組織された「守口市生涯学習推進会議」において、計画の進行確認や推進における課題の検討を行い、生涯学習を推進します。

また、広報紙や市ホームページ、FMハナコ、SNSなどにより、本計画についての情報発信を行い、市民への周知を図り、計画を推進します。

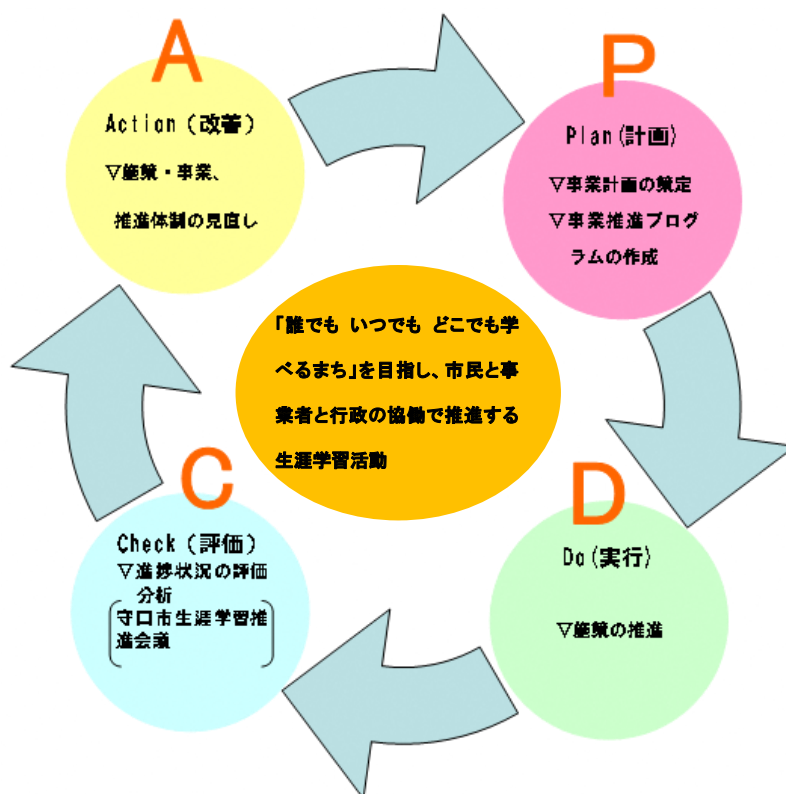
2. 連携・協働による生涯学習推進

本計画では、すべての人が自己実現を図り、相互につながり、社会の発展を促すための生涯学習施策を展開します。

多岐にわたる行政分野の施策を実施するためには、庁内での理解と認識を深め、総合的に推進していく必要があるため、行政、市民、各種団体、NPO、学校、地域、企業などが連携し、協働により生涯学習に関する施策を効果的・効率的に進め、本計画を推進します。

3. PDCAサイクルによる進行管理

事務局で定期的に事業の進捗をまとめて、評価・分析を行い、「守口市生涯学習推進会議」で検討し、事業の継続または見直しを行うPDCAサイクルを実施していきます。



資料編

守口市生涯学習推進会議規則

(趣旨)

第1条 この規則は、守口市附属機関条例（平成25年守口市条例第3号）第4条の規定に基づき、守口市生涯学習推進会議（以下「推進会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 推進会議は、市長の諮問に応じて、守口市附属機関条例第2条の表第1号に掲げる当該担任意務について審査し、答申する。

(会長及び副会長)

第3条 推進会議に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 推進会議の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 推進会議は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 推進会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 推進会議は、議事に関して必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、意見を述べさせることができる。

(庶務)

第5条 推進会議の庶務は、生涯学習主管課において処理する。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

守口市生涯学習推進会議委員名簿

(敬称略・各分野 50 音順)

氏名	選出分野	現職等
久保 由加里	学識経験者	大阪国際大学国際教養学部国際観光学科 教授
森 由香	〃	大阪大学人間科学部 講師 近畿大学農学部 講師
上崎 知佐	専門的経験者	NHK 文化センター 守口支社 支社長
上野 高晴	〃	市スポーツ推進委員協議会 会長
門元 邦彦	〃	株式会社エフエムもりぐち 主任
高雄 勝徳	〃	株式会社ジェイコムウエスト北河内局 局長
西村 孝子	〃	NPO 法人教育支援・Kids もりぐち 理事
日高 真吾	〃	市地域コーディネーター 副会長
深田 政好	〃	市社会教育委員会 議長
吉武 進	〃	大阪府立守口東高校 校長
井上 祥子	市民委員	
加藤 淳一	〃	
松原 君枝	〃	

「第3次守口市生涯学習推進計画」

令和4年（2022年）3月